

館報

平成最後の



4月号

# やまかた

No. 756

平成31年



## 樹木の生産者

本間 義昭さん(小坂)

「自然（植物など）と関わる仕事がしたいと思い、今の仕事に就きました」と穏やかに話してくれた義昭さん。樹木の生産などに携わっているそうです。

今は、今月末に開催される信州花フェスタ2019に使われる“花”的納品に大忙しで、「開催中に咲くようにするための温度管理が大切なんです」と教えてくれました。

(4月2日 丸八種苗園にて)

健  
ジロー  
姿

2019. 4

## 告知板

## 第15回市町村対抗 小学生駅伝競走大会

日時 4月27日(土)  
 午前10時45分スタート  
 場所 松本平広域公園陸上競技場  
 備考 全4区間 6.1km

## 山形村図書館「子ども読書週間」

読書マラソンがリニューアルします。  
 新しくて、おもしろい本がいっぱいです。  
 期間 4月23日(火)～5月12日(日)

## 2019年度公民館講座(上半期)

今年度も多種多彩な講座をピックアップしました。詳しくは、この館報4月号と同時にご家庭に配布される「学びの情報」をご覧ください。

## 第4回バドミントン初級者交流大会

日時 6月2日(日)  
 8:30受付 9:00開会式  
 場所 トレーニングセンター体育館  
 備考 参加資格：初心者～初級者（中学生以上）  
 募集人数 40人（先着順）  
 締め切り 5月19日(日)  
 参加費 800円  
 問い合わせは080-5108-6299(百瀬)まで



	Aリーグ	混合の部
優勝	アンフェア	優勝
準優勝	アトラス	準優勝
第3位	ダークホース	第3位
Bリーグ		
優勝	仲町☆軍団	優勝
準優勝	アップルオレンジ	準優勝
第3位	チーム南ずらう	第3位

	女子リーグ	4人制リーグ
優勝	めちゃmama	優勝
準優勝	～Treasure～	優勝 バレツツ
第3位	オリーブ	準優勝 プレアデス
		第3位 SPADE
		第3位 CLUTCH



3月17日(日)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、「戦後山形村を生きた女性たち青年たち」をテーマに講演会が開かれました。約1年間山形村の青年会や婦人会について調査して調査してきた信州大学の大串潤児教授が講演を行い、約40名が聴講しました。

## ソフトボール開会式

3月27日(水)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて30年度に実施されたソフトボールリーグ戦の閉会式が行われました。

## 歴史講演会

## ふるさと伝承館大盛況

4月14日(日)、4月末をもつて一時閉館となるふるさと伝承館が無料開放され、90人を超える来館者で終日賑わっていました。

施設の老朽化のため一時閉館となる前にもう一度訪れておこうと思った人々、伝承館に初めて足を運んだ人も多く、展示品の人も多く、展示品の説明を真剣に聞く来館者の姿がありました。



## グランド整備

4月13日(土)、早起き野球連盟とナイター・ソフトボール連盟合同でトレーニングセンターラウンドの整備を行いました。春とはいえ夕方の風はまだ冷たく、参加者は手を擦りながら作業を行いました。



30分ほどで一輪車15分の土砂20杯ゴミが取り除かされました。

始まり、木々には新しい芽が吹き、新しい生活が始まつたりする人も多いのではないか▼我が家もご多分に漏れず、長女が高校へ、次女が中学へそれぞれ進学。

女房も勤務先が変わり、家中に吹いている風も変わった感じがしている。慌ただしさももちろんあるが、それぞれ新しい目標に向かう前向きな風で気持ちがいい。唯一、大きな変化がなかつた私は焦りを感じつつも、見守るのも大事な仕事と言い聞かせ、現状維持である▼新年度が始まつたばかりではあるが、もうすぐ元号が変わり、「令和」の時代がやってくる。

日本が急成長したと言われる昭和の時代、何かと大きな災害が目立つた平成の時代。

令和の時代はどんな風になるのか、まだ誰にも予想できないが、良い意味でスピードアップ、悪く言うと更に忙しくなるのではないかと思う▼そんな時代についていけるよう、現状維持と言わず自分も変わっていかなければならぬのかと感じる今日この頃である。新しい時代に期待をしながら。

## 山すそ

春。新しい季節が始まり、木々には新しい芽が吹き、新しい生活が始まつたりする人も多いの

# 人の動き

～新たな時代を翔る～

◆鉢盛中学校PTA

（山形関係分）

◆保育園保護  
中大池  
下大池  
下竹田  
◆区長  
（新任）

監事	会計	副会長 (郡P常任)	副会長	副会長	幹事會記	書記長
直井正一	増澤直美	上條百瀬	平井大池	神農	上條みのり	杉本黒沢
和子	康洋	淳子	剛	来榮	堤里紗	村上雅代
一					田口真矢	上条瑞恵
					本間一美	宏美雪
					佐藤早苗	佐藤雅代
					高木祐美	杉本美雪
					佳子	佐藤雅代

◇小学校に迎えた先生

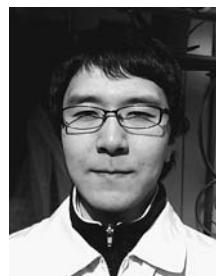
◆中学校に迎えた先生

太田 雅彦	（飯田西中より）
小島 望美	（豊科北小より）
鈴木 寛	（旭町中より）
竹川 太一郎	（小諸養護より）
田中 裕也	（開成中より）
早川 和宏	（緑ヶ丘中より）
松井 良平	（春富中より）
望月 正樹	（柳町中より）
山本 和子	（山辺中より）
栄養士 種田 厚子	（松本市健康づくり課より）
調理員 高木 千晶（嘱託）	
波多腰とも子（臨時）	



# 『令和をどう 生きようか』

まえだ ゆうじ  
前田 祐司  
(下大池)



# 『災害と 平和の時代』

なおい ともみち  
直井 知導  
(下竹田)

## 平成を振り返る

元号が令和に決まりました。  
大方の予想が外れましたが、  
スッキリと清しい文字に5月  
からよろしくお願ひします。

災害の目立つ時代であつたという印象です。特に平成23年の東日本大震災は今でも記憶に鮮明で、この時ばかりは他人事ではないと痛感、慣れないボランティア活動に参加したりもしました。また震災のみならず、異常気象、雹害や大雪に苛まされることもなくなかつたように感じます。ただ、災害多しといえども、戦災に見舞われることだけはありませんでした。この災害と平和の時代を生きた者として、後世に伝えるべきは何か、考える今日この頃です。

昭和生まれの私は、これで昭和、平成、そして5月まで命が持てば令和の世を生きていくことになります。今は昭和のころに比べるとずいぶん便利になりましたが、ある線を越えると淋しさにつながりかねないです。例えば「子育てをA.I.に。」とはなかなかならないのは、苦労を喜びに変えようとする力が人にはあるからではないでしょうか。大切なのは、育てるという技術じやなくて育てるという気持ち。

進化は止められなくとも人はやつぱり「和」を求めるから。そこへ進みながらも立ち返れたらと思います。さて令和をどう生きましょか。



# 2019年度 公民館人事

## 本館スタッフ



部長  
宮沢健太郎  
(下竹田)

### ◆体育部



部長  
百瀬悟  
(下竹田)

### ◆社会部

上大池  
部員

瀬川  
中村  
今村  
久恵  
岳人

### ◆編集部

部長  
大池剛  
(上大池)



部員

上條  
唐木加寿美  
竹野入映子  
丸山  
小野  
小波  
智彦  
百恵  
徹

### 下竹田



分館長

**山中秀樹**

副分館長 横水 聰子  
会計 石川 典幸  
社会部長 齊藤 弘明  
副社会部長 山田 享  
〃 大月 優香  
体育部長 松館 孝  
副体育部長 小森 哲也  
〃 村上 明美

### 上竹田



分館長

**古畑徹**

副分館長 唐沢 秀明  
会計 竹村 貴子  
レクリエーション部長 丸山 洋平  
レクリエーション副部長 清水 哲也  
〃 上條 信子

### 下大池



分館長

**清水健次**

副分館長 塩原 徳雄  
会計 松本 育美  
社会部長 村瀬勝之助  
副社会部長 中村 朝  
体育部長 曾根原 覚  
副体育部長 横山あづさ

### 小坂



分館長

**百瀬重治**

副分館長 中村 功  
会計 堤 明美  
社会部長 小林由志輝  
副社会部長 西牧 英章  
〃 小野 総恵  
体育部長 鈴木 正雄  
副体育部長 山口堅太郎  
〃 小口さなる

任期満了にともない、公民館の新役員が決まりました。館長に百瀬純雄さん、副館長に中村よしみさんが新任館長の齊藤春彦さんが再任されました。各分館、各部でも新役員が決まり、『令和』の幕開けとぞの活動がスタートしています。

**山形村公民館**

**新時代に歩み出す!**



# おのれをつくしてなるをまつ **尽己竣成**

2019年度

山形小学校PTA会長 神農 来栄(下大池)

かん のう  
**神農** らい えい  
**来榮**

# 4月の 声

私は大町市で生まれ、松本市で育ち、小学2年生から現在に至るまでずっと柔道をやってきました。練習が本格的になり始めた小学4年生から中学、高校の柔道は本当に厳しいものでしたが、一度も柔道を辞めようと思つた事がなかつたので本当に柔道が好きだつたのだと思います。

2006年4月に山形村に引っ越ししてきて、2007年3月からは「克己塾」と言う少年柔道チームを立ち上げました。

私が柔道塾を立ち上げ、指導者を志すきっかけとなつたのは、専門学校2年生の時でした。学校には柔道部があり、その下部組織として少年柔道チームもありました。1年間限定で2年生がコーチを務めるのですが、私にコーチの話がきたのです。手探りでの指導でしたが一生懸命柔道に取り組む子どもたちの姿は本当に可愛いものでした。学校が休みのある日、街の中で偶然教えていたる子どもとご家族に会いました。すると「先生！ こんにちは！」と子どもから大きな声でいさつをしてくれたのです。親御さんは「柔道を始めてか

敗を運のせいにしてはいけない。幸運を望む前に、まず自分の力を尽くせ。

また、失敗した不運を嘆いて努力を止めてはならない。さらに勤勉と辛抱を怠らず、成就を待て。

成功者は、努力の限りを尽くして結果、自身の運命を拓き得たのである」

この言葉の通り力の出し惜しみをせず、もし失敗してしまう事があつたり、上手くいかない事がどうしても勤勉と辛抱を怠らず P.T.A 会長の職務を全精力を尽くしてやつていきたいと思っています。

私の事を知らない人がほとんどだと思いますので、自己紹介をさせて頂きます。

私は大町市で生まれ、松本市で育ち、小学2年生から現在に至るまでずっと柔道をやってきました。練習が本格的になり始めた小学4年生から中学、高校の柔道は本当に厳しいものでしたが、一度も柔道を辞めようと思った事がなかつたので本当に柔道が好きだったのだと思います。

2006年4月に山形村に引っ越してきて、2007年3月からは「克己塾」と言う少年柔道チームを立ち上げました。

「たんです」と言つていました。  
この時に「柔道を通じて礼節のしつかりした子、心と身体の強い子を育てられたらこんなに嬉しい事はない」と思つた事が指導者を志す原点であつたと思ひます。他チームのコーチも含めたら指導に携わつて22年、今なお試行錯誤の日々ですが子どもたちが少しでも成長出来るようにと励んでいますさて、今回タイトルにした「尽己竭成（おのれをつくしてなるをまつ）」とは柔道の創始者嘉納治五郎先生の言葉です。

4月13日(土)、ミラ・フード館「ホール・ミラ」にて、「さくらの下のコンサート2019」が行われました。



受講者から感謝のお手紙



セレクトのノハート

おくやみ

おめでた（子・親）

風

(敬称略)

最後は出  
演者・観  
客全員で  
「故郷」  
を齊唱し  
幕を閉じ  
ました。



生き生き大学 閉講式

も変えての開催となりました  
当日は恒例となつたコンサ

中村ヨシエ	88歳	上天池
旗町巳佐喜	90歳	下大池
上條サチ子	94歳	中大池
旗町 克子	88歳	下大池
百瀬 廣子	99歳	上竹田
清原あさ子	95歳	上竹田
平沢 政弘	91歳	中大池
矢田きゑ子	87歳	小坂
・	77歳	下竹田

# 想い出の春、希望の春

山形保育園

卒園69名（3月23日）

入園61名（4月3日）

ご進学される皆さん、おめでとうございます。  
新しい学びの園では、どんな友だちと出会いどんな  
経験をするのでしょうか？ワクワクしますね！

やまのこ保育園

卒園15名（3月23日）

入園10名（4月3日）



3年生は3月14日(木)で中学校を卒業したため、これが在校生といつしょに歌う最後のコンサートになり、合唱部で育んだ想い出を後輩たちと共に有しました。来年は観客席でこつそり口づさんでいるかも知れませんね。

メンバーコンサートを変更ながら、得意な曲やチャレンジしている曲を披露しました。また信州大学グリークラブとともに混声合唱を行った後、会場を巻き込んで「故郷」を大合唱。さまざまな声質が絡み合って紡ぎだすハーモニーに聞き入ってしまい、あつという間の2時間でした。

3月21日(木)、ミラ・ホールにて鉢盛中学校合唱部のコンサートが開催されました。3月21日(木)、ミラ・ホール・ミラにて鉢盛中学校合唱部のコンサートが開催されました。

さよならの前に

# ようこそ 山形小学校へ



## 1年1組



担任  
まる やま  
丸山 美穂先生

小学校での新しい生活を楽しみにドキドキワクワクしながら入学してきた29人の子どもたち。

たくさんのお友だちや上級生のお兄さんお姉さんといっぱい遊んで、元気にたくましく成長していってほしいです。

地域の皆様も温かく見守って下さい。



## 1年2組



担任  
みず の  
水野 亮先生

ピカピカのランドセルを背負って、ピカピカの笑顔で、1年生が入学してきました。これから始まる学校生活の中でも、ピカピカの笑顔をたくさん見せてくれることを楽しみにしています。

子どもたちが安全に安心して過ごせるよう地域の皆様にもご協力をお願いします。



## 1年3組



担任  
きよ すみ  
清住 緑先生

入学して数日後、教室で校歌のCDを流しました。「この歌どこかで聞いたかな?」「うん」「入学式で聞いた」と返事が返ってきました。そして、歌を口ずさみはじめる子どもたち。もう、すっかり山形小学校の一員です。

たくさんの経験をして、大きく成長してほしいです。